



会長挨拶

今年のこれまでの活動をふり返って

前号のニューズレターで“今年の取り組み”を紹介しました。進捗はどうでしょう？“大阪クラブ設立40周年記念行事企画”のように進行中のものもありますが、計画に上げていた項目に加え、“FFIのVirtual Experience、SAKURAのプレゼン”、“クラブ内イベント・京都歴史探訪”を実施出来ました。ある組織の広報に「行事開催も難しい状況ではありますが、企画しないことには中止も出来ません」という言葉が載っていました。私たちの活動にも当てはまります。企画とともに大事なことは参画する事です。幸い難しい状況の中でも皆さんの協力のお陰で実施できました。喜ばしい限りです。この参画意識が来年の活動、特に待望の国際交流につながる事を期待したいと思います。佐薙 啓一

クラブ内交流 京都歴史探訪ツアー



東福寺 通天橋にて

一会員の私に、京都歴史ウォークのガイドをしてもらえないかとの依頼があり、コロナの蔓延はまだまだ予断を許さない状況でしたが、ここ3年間、クラブ内の交流が全面ストップし、私自身とても寂しい思いがしていましたので、久しぶりに大勢の仲間達と会えることを願い、東福寺、智積院、三十三間堂を中心とした京都東山界隈のツアーを企画しました。

6月18日、京阪東福寺駅に21名が集結してまず東福寺へ。東福寺は通天橋の紅葉で有名ですが6月の青紅葉も素晴らしく、広い境内には国宝の三門や中世にさかのぼる建築が現存し往時の威容を今に伝えています。東山七条界隈は治天の君として院政を行った平安末期の後白河上皇と天下統一を果たした豊臣秀吉の歴史も多く残されています。智積院は豊臣秀吉の長男鶴松を吊って創建された祥雲禅寺が前身で庭園は国の名勝に指定されていて変化に富んだ見事な庭園です。また桃山時代の絵師長谷川等伯親子の障壁画国宝「桜楓図」も楽しんでいただけたと思います。智積院で精進料理をいただいた後、三十三間堂に行きました。三十三間堂は、平清盛が後白河上皇のために創建。鎌倉時代に再建された本堂は湛慶が手掛けた千手観音菩薩座像を中心に左右に千手観音菩薩像が立ち並び、風神雷神像や二十八部衆の守護神等も見る人を惹きつけます。

久しぶりに皆様と再会でき、盛り沢山の案内になりましたがさすがフレンドシップの交流で鍛えられている皆様、お疲れもなく最後までご一緒していただけました。ありがとうございました。金山 順子



三十三間堂にて



Zoom イベント参加者

We love SAKURA

Osaka Club Virtual Event

4月16日、大阪クラブが主催して、日本の桜とお花見文化についてのバーチャルイベントを発信しました。ZOOMを利用して1時間半、最初に佐薙会長からFF大阪クラブについての紹介があり、続いて朝倉隆夫さんが「We love Sakura」と題して、花見の起源、ひな祭り、和歌、能、歌舞伎、浮世絵など文化的や歴史、京都、大阪の桜名所やアンバサダーとお花見などについて、動画4本、画像173枚を交えての講演がありました。約50名が参加され、海外からも素晴らしいプレゼンだったと好評を得ました。「My ff」に入り、「VIRTUAL EXPERIENCE」を選択してご覧になることができます。是非見てください。



熱弁をふるう朝倉さん

第32回 FF 日本大会

第32回 FF 日本大会が、10月26日～28日、新潟県新発田市の月岡温泉で開催され、全国21クラブから166名が参加、大阪クラブからは6名が参加しました。

今大会は、コロナ禍のために渡航・受け入れ等 FF 活動が停滞するなか、何とかこの状況を打破しようと新潟クラブが立ち上がって3年振りに開催されたものです。

今年から、代表者会着が切り離され、大会のメインは、参加者の親睦と結束を図るプログラムとなり、今大会のモットー「とにかく楽しくやろう」の言葉通りとても楽しく有意義な日本大会となりました。また、参加者全員が同じ豪華温泉旅館に連泊し、ともに過ごし、心行くまで語り合ったのも今大会の大きな特徴でした。

第1日目は、新潟クラブの設立40周年記念式典が併せて行われ、FFI ジェレミ会長他、各界各層の祝辞に続いて、箏と尺八の演奏会、さらに盛大な祝賀パーティが開催されました。

第2日目は、ジェレミ会長、FFI 小泉佳子理事、金元勅子 RSM による FF の現状と今後のあり方に関する話に続いて、経済評論家須田慎一郎氏による記念講演、午後には、参加者が12のグループに分かれて、さらにメンバーを入れ替えながら36の分科会が開催され、「FF 活動を楽しむためにはどうすればいいか」等について話し合いました。また、地域毎にブロック会が開催され。中部ブロック会議では、次年度の開催を大阪クラブが引き受けることとなりました。締めくくりの Farewell パーティは、歌と踊りも加わって大いに盛り上がり、全国のメンバー同士の絆を深めることができました。

第3日目は、北方文化博物館等へのエクスカージョン、さらにその後、佐渡島への観光ツアーも行われ、大阪クラブから3名が参加しました。 金山 忠夫



ジェレミ会長親子を囲んで



FFI ジェレミ・スマーク会長

10月26日から28日まで、月岡温泉ホテル華鳳で行われた。一言で言うと、「とにかく素晴らしい演出」これまで経験したことの無い大会だった。こんな楽しい会に参加しなかった人は「損したね」と思う程だった。来賓の方々のそうそうたるメンバー、Jeremi 会長の挨拶では日本のクラブからの寄付に対して感謝の意を何度も言われた。

コンサートでは、琴と尺八のコラボで、お二人ともその道では有名な方だった。ホテルは贅を尽くした高級ホテルでしばし優雅な気分を味わった。その後の佐渡へのオプションで我々は2泊を楽しんだ。佐渡金山、朱鷺の生息の様子などを見ることができた。そこでただひとつ残念だったのは「たらい舟体験」がツアー

に含まれていなかった事。後ろ髪を引かれる思いだった。 宗廣 はつ子

新潟クラブ主催の日本大会に初めての参加、約170人の参加者で久しぶりの再会を喜ぶ声があちこちで響いていました。一日目は来賓挨拶、新潟クラブ40周年記念式。二日目はFFI 会長が「これからのFFの在り方」FFI 理事小泉佳子氏が「そうだったのかFFI」を演説。FFI の理事は立候補してなります。FFI のことは立候補した理事達は何回も議論を重ねて決まります。午後から分科会が三回、メンバーは交代制。各クラブから10名くらいで構成、各クラブの問題を参加者で協議しました。会員高齢化により運転ができない場合は、公共交通機関利用。若い会員を増やす為、準会員を作る。近隣のクラブと連携する等でした。

池内 サチ子



さよならパーティでの盛り上がり

国内交流

10月5日、6日と大阪クラブ主催で国内交流を行いました。

1日目の中之島ツアーには奈良クラブからも2人の会員の方が参加してくださいました。近代的な高層ビルの中、大正ロマン溢れる建築物を見学。水と緑の豊かなこの地域は、都会のオアシスのようでした。2日目も天気にも恵まれ、すっかり秋めいた川辺と酒蔵の景色を見ながらの十石船の遊覧は爽やかなひと時でした。ツアーを通して久しぶりにクラブの皆さんと会えてお話出来たことが、何よりの楽しい時間でした。来年にはやっと海外との交流も再開の予定ですが、これからもこのような国内交流もしていきたいと思います。 今井 綾



大阪市中央公会堂にて

1日目 大阪

秋の気配が漂い始めた10月5日、奈良クラブからの2名様初め、合計14名の参加を頂き、梅田でのランチ会からスタートしました。初めてお会いする方や、久しぶりにお会いする方々とも、楽しい語らいを通して、一気に親しくなれたように思います。中之島へ移動し、中央公会堂、図書館や日銀大阪支店を見学、大阪の歴史の一端に触れたひと時でした。その後、堂島川沿いに中之島美術館まで散策、併設のレストランでのディタイムと、より親しく、深く交流出来たのではないかと思います。多数ご参加頂き、有意義な一日になりました。有難うございました。 南山 市子



中の島美術館前・猫のオブジェ

FF大阪クラブの国内交流会に参加して

国内交流会参加の呼びかけをメールで受け取り、大阪中の島の伝統的建物を見学とありましたので躊躇することなく参加申し込みをいたしました。中の島公園は良く知っていますが、建物の中には入ったことが無くとても興味深いでした。大阪クラブの方がパンフレット等も用意されたのでしっかり見学させていただきました。予定では夜どこかのレストランで盛り上げ、翌日は京都伏見月桂冠十石舟のコースでしたが、私はお仕事が重なっていましたので一日だけの参加にさせていただきました。

大阪クラブの皆さんとは勿論初めてのお出会いでしたが、何となく関係のある人が二、三人おられたりして、以前からのお友達のようにとても親しみ深く接してくださり本当に楽しい一日を過ごさせていただきました、ありがとうございました。奈良のFFとも交流したいとおっしゃっていただきました。なお、今回は他クラブからの参加者は奈良クラブからの大西博美さんと私だけでした。 奈良クラブ 田中 昌子

2日目 京都・伏見

2日目の京都伏見散策は名水百選の手水舎がある神社から。徳川御三家初代藩主や千姫も産湯を使った神社で、重要文化財の本殿、表門等は徳川家の寄進。神幸祭の週のこの日は千姫寄進の日本一重い神輿も見学できました。次に伏見港名残りの十石船に乗船。龍馬とお龍で有名な寺田屋も訪れ、最後はお目当ての試飲を楽しみに月桂冠や黄桜の酒蔵巡り。久しぶりの交流会は終始会話が弾み、無事終了。ご参加の皆様ありがとうございました。 和多田 美津子



酒蔵を改装したレストラン 鳥せいにて

大変充実した良いプランで、ゆっくりと美しい街を堪能しました。普段アンバサダーを案内する伏見大社の、線路を挟んで反対側に、こんなに静かで歴史的な街があったのか、と驚きました。小舟に乗って見る土手には季節折々の花が植えられ、見上げると酒造会社の建物も風景に馴染んで静かに佇んでいました。参加者皆さんとの交流や、朝倉さんから伏見の歴史的位置の解説も聞けて、心豊かに帰路につきました。 河村 千津子



伏見港から十石舟に乗って

森本元会長を偲んで



森本さん、5月1日に亡くなられてもう半年経ちました(否未だ半年と言うべきでしょうか)。亡くなられたことを知った他のクラブの沢山の人たちからお悔やみのメッセージを受けましたねえ。FF 大阪クラブだけでなく日本全体の FF 活動に貢献されるとともに、多くの人にインパクトを与えておられたことを改めて気付かされました。個性的で、パワフルで、いつも前向きに人生を愉しんでおられました。その情熱はどこから来ているのだろうと思っていましたが、大阪クラブの会長を退かれた時のご挨拶の言葉に吐露されていました。

「そもそも人にとって『愉しみ』とは何なのか? 私に言わせると、それはたった一つ。つまり『知らなかった事を知る』に尽きます。そして、その知らなかった事とは、大きく分けて、1:人、2:所、3:事実の三つがあります。今まで

知らなかったこの三つを知ることが出来る大きなチャンスが得られるのが、この FF 活動の醍醐味なのだ、と私は胸を張って断言できます。これこそが、会長を6年やった成果物です。」いつもながら簡潔に自信を持った言葉で説得力があります。私たちに FF 活動の意義を示唆された言葉と受取れます。英語でも日本語でも話しぶりは変わりなく、人曰く“森本節”、懐かしく思い浮かびます。2019年に静岡で開催された日本大会がご一緒した最後の FF 活動となりましたが、その後はコロナ禍でお会いすることは叶わないままお別れすることになり残念です。しかし、森本さんから受けたもの全てが私だけでなく皆さんの心に残り続けることは間違いありません。心からご冥福をお祈り致します。

佐藤 啓一

英語の会 今年から英語の会をリニューアル

日本への渡航者、滞在者に関わらず、英語が母国語でない人が増えており、今年是非英語圏の人を講師に招いて英語の会を開催しています。講師は島根の大学に留学経験があるバングラディッシュ出身のラハマンさん。自分のことを“コメディアン”と紹介するだけあって、陽気でポジティブな人です。発音に癖はありますが、日本の小学校で英語の教師をしており、英語を教えることはお墨付きです。バングラディッシュのことや日本の小学校でどんな英語教育をしているかも知ることが出来ました。和やかで楽しい時間を過ごしています。



英語の会
世話役

バングラディッシュの紹介をするラハマンさんと参加者

手芸の会

会員の森本篤子さんのご好意で、指導だけでなく原材料の調達、型紙の作成等すべてをしていただいています。7月の例会では、「着物地で造るブローチ」を、11月には、お正月に向けて「羽子板飾り」を作成しました。海外へのお土産に喜ばれそうですね。下の写真の赤いバッグに見覚えありませんか? 数え切れないぐらいのアンバサダー達が、袖を通したあの打ち掛けです。お役御免になったものが、森本さんの手でバッグになって



見事に甦りました。

事務局



編集後記

私事ですが、入会させていただいて、行事に1度参加させていただいて以降、何もできないまま3年が過ぎようとしています。NLの編集に関わらせていただき、来年こそはいろいろなことに参加したいと思っています。コロナ感染の第8波も来ているようです。お氣をつけてお過ごしください。

大月

編集・発行 フレンドシップフォース大阪クラブ

発行日 2022年12月

事務局 〒573-0032 枚方市岡東町 1-10 金山忠夫
kanayama573@gaia.eonet.ne.jp

ホームページ担当 飛岡文夫

<http://ffosaka.pro.tok2.com/>

編集人 佐藤、細井、金山、長谷部、山田
吉良、岩田、大月

